

私に与えられたもの

南 豊

奨励者紹介〔みなみ・ゆたか〕

日本キリスト教団東灘教会牧師

「天の国はまた次のようにたとえられる。ある人が旅行に出かけるとき、僕たちを呼んで、自分の財産を預けた。それぞれの力に応じて、一人には五タラント、一人には二タラント、もう一人には一タラントを預けて旅に出かけた。早速、五タラント預かった者は出て行き、それで商売をして、ほかに五タラントをもうけた。同じように、二タラント預かった者も、ほかに二タラントをもうけた。しかし、一タラント預かった者は、出て行って穴を掘り、主人の金を隠しておいた。さて、かなり日がたってから、僕たちの主人が帰って来て、彼らと清算を始めた。まず、五タラント預かった者が進み出て、ほかの五タラントを差し出して言った。『御主人様、五タラントお預けになりましたが、御覧ください。ほかに五タラントもうけました。』主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』次に、二タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、二タラントお預けになりましたが、御覧ください。ほかに二タラントもうけました。』主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』ところで、一タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方だと知っていましたので、恐ろしくなり、出かけて行って、あなたのタラントを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。』主人は答えた。『怠け者の悪い僕だ。わたしが蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集めることを知っていたのか。それなら、わたしの金を銀行に入れておくべきであった。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きで返してもらえたのに。さあ、そのタラントをこの男から取り上げて、十タラント持っている者に与えよ。だれでも持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。この役に立たない僕を外の暗闇に追い出せ。そこで泣きわめいて歯ざしりするだろう。』」

（マタイによる福音書 25章14—30節）

「タラント」のたとえ

先ほどお読みした聖書箇所は、ある人が三人の召使いにお金を預けたという場面から始まります。この時、三人が預かった金額は5タラント、2タラント、1タラントとそれぞれ違いました。物語において、5タラント、2タラント預かった人は商売をし、それぞれ主人から預かったお金を倍にしました。主人はこの二人に「忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ」と祝福の言葉をかけています。一方、1タラント預かった人は、主人がケチな人であることを知っていたため、減らしては大変だと思い地の中に隠しておきましたが、主人はこの人を厳しく叱責した、と

いう内容です。

たとえ話が

伝えようとしていること

このたとえ話を読みますと、1タラント預かった人がかわいそうに思えます。他の召使い仲間は自分の倍以上のお金を預かっているのに自分は1タラントしか預けてもらえなかったからです。皆さんであれば、どうでしょう。多くの人は拗ねてやる気を失ってしまうのではないのでしょうか。しかし、これはたとえ話です。たとえ話とは、イエスが神の国とはどういうところかを教えるために語られたものであって、実話ではありません。そのことに注目しますと、イエスがこのたとえ話をとおして伝えようとしたことを理解するためには三つのポイントがあると、思われました。

第一のポイントは、主人が預けたタラントの価値です。新共同訳聖書の巻末にあります「度量衡及び通貨」の表を見ますと、1タラントは当時の労働者の約20年分の賃金に相当する額であったことが分かります。5タラントや2タラントに比べますと少ないですが、1タラントであっても莫大な金額です。

第二のポイントは、タラントが何を意味するのかです。このタラントという言葉は、後に才能、能力を意味する英語のタレント(Talent)の語源となった単語です。テレビ、ラジオなどに出演する芸能人など、一芸に秀でた人をタレントと呼びますが、実は聖書からきています。

第三のポイントは、主人が何を褒めたかです。5タラント、2タラント預かった人はどちらも、主人から「忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ」と祝福の言葉を受けていますが、これは少し変です。24節において、主人は「蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方」だと言われています。要するにケチな人です。そのため、1タラント預かった人は預かったお金を減らすことを恐れました。もう1度聖書を見ますと、5タラント預かった人は5タラントもうけて合計10タラントを主人に返し、2タラント預かった人は2タラントもうけて合計4タラントを主人に返しました。5タラント預かった人は2タラント預かった人の2.5倍の結果を出したことになります。主人が5タラント預かった人に「君は凄く頑張った」と言い、2タラント預かった人には「君も頑張ったな。今度は5タラント預かった人ようになってね」とでも言うなら、まだ分かります。全く同じ言葉で褒められていることを思えば、主人はいくら稼いだかという結果を見ていないことが分かります。5タラント預かった人と2タラント預かった人に共通することは、商売したこと。預けられたタラントを使ったことです。

私に与えられたもの

その三つのポイントを踏まえると、少しずつこのたとえ話が伝えようとしていることが見えてこないでしょうか。ここで言われるタラントとはお金ではなく、才能や能力を意味します。才能や能力と聞きますと、テレビタレントのように誰もが一目を置く人のみを指すように思えますが、キリスト教では神はすべての人間に、それぞれに応じたその人にしかない才能や能力を与えられていると考えます。つまり、私たち一人ひとりは何らかのタラントを神から預かって生まれてきたのです。

私たちに与えられたタラントは、お金と違って多ければ何でもできるというものではありません。2008年

から3大会のオリンピック男子陸上競技において、8個の金メダルを獲得したウサイン・ボルトという人がいます。彼に与えられたタラントンは何タラントンであったのか、陸上短距離という意味では5タラントンであったでしょう。2017年の世界陸上ロンドン大会100m決勝3位という成績を最後に陸上競技から引退した彼は、サッカー選手を目指します。サッカーにおいて足の速さは大きな武器ですから、世間は彼の活躍を予想しましたが、思ような契約条件を提示されず、2019年にサッカー界からの引退を宣言しました。このことは、私たちに与えられたタラントンは簡単に他の誰かが取って代わられるようなものではないことを意味すると私は思うのです。

タラントンを増やす

チャペル・アワーの秋学期統一テーマには、「受けるよりは与える方が幸いである」という聖書の言葉が掲げられています。使徒言行録にはイエスの言葉とありますが、イエスの生涯を書き記した福音書にはイエスがこのような発言をしたとは書かれていません。しかし、この言葉はキリスト教を信じる者の人生観を端的に示す言葉と言えます。この言葉のように、他人に何かを与えられるようになるためには、それに値するものを自分もっていなければなりません。それゆえ、私たちは自分には何もないと落ち込むことが少なくありません。しかし、今日の聖書箇所はそんなことはない。あなたには、あなたにしかないタラントンが与えられている。簡単に他の誰かが取って代わることができない才能や能力が与えられているのだと告げるのです。私たちは自信をもって、自分に与えられたタラントンをusingしていけばよいのです。

お金と違って才能や能力は、失敗したからと言って減ることはありません。「失敗は成功のもと」という言葉がありますが、失敗から学ぶことができれば私たちは成長します。そうであればタラントンは増えることはあっても減ることはありません。それが、タラントンを商売して増やすということなのだと私は考えます。

神様が私たち一人ひとりに与えられたタラントン、それをどう用いるかは私たちに任されています。どうか、この同志社大学での学びの日々を、自分に与えられたタラントンを磨き、増やすために使い、いつかその力を隣人のために使う生涯を送っていただきたいと願っております。

2019年10月23日 今出川水曜チャペル・アワー「奨励」記録